

福岡県
大分県
佐賀県

熱中症予防対策担当部局 御中

環境省大臣官房環境保健部環境安全課

被災住民等の熱中症対策について（周知依頼）

九州北部地方を中心とする令和5年梅雨前線による大雨により被災されておられる皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

今回の大雨に伴い、被災住民の皆様向けの避難所の運営やボランティア活動等がなされることが想定されます。今後、気温や湿度が高い日には、生活環境、作業内容、体調等の状況次第で被災住民やボランティア等の方々が熱中症にかかる危険性が高まるため、十分に対策を行うことが重要です。また停電等により、冷房設備が使用できない状況においては一層注意が必要です。

熱中症を予防するため、「熱中症環境保健マニュアル」や別紙リーフレットを活用頂き、防災担当部局、ボランティア担当部局、災害ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会及び NPO・ボランティア団体とも十分連携の上、可能な範囲で、目にとまる避難所等の入り口や掲示板等に、暑さ指数（WBGT）や熱中症予防行動を表示する等、避難者やボランティアの方々に対して熱中症への注意喚起を実施いただき、被災住民等の皆様における熱中症予防行動が徹底されますよう、防災担当部局等とも密に連携し、該当する貴管下市町村や関係者等に周知をお願いします。

なお、特に体調の変化に気付きにくい高齢者やこども等はより注意が必要なので積極的に声かけ等を行い、熱中症予防対策を実施していただきますようお願いいたします。

【参考1】「熱中症環境保健マニュアル 2022」

【参考2】熱中症予防に関するウェブサイト

【別紙】別紙：災害時の熱中症対策リーフレット

《本件照会先》

環境省 大臣官房 環境保健部環境安全課

担当者名 中川、五十嵐、坂本、程

TEL 03-5521-8261

e-mail netsu@env.go.jp

【参考1】

「熱中症環境保健マニュアル 2022」（環境省）より抜粋

～災害時等避難所を設置・管理される方は～

- ・熱中症予防行動（暑さを避ける、こまめな水分補給、涼しい服装を着て、風通しをよくする、濡れたタオル等で体を冷やしうちわで仰ぐ等）を避難者に促す。
- ・被災や避難生活による疲労や寝不足等による体調不良、栄養不足等により熱中症のリスクが高くなる可能性があるため、避難者等に対して普段以上に体調管理を心掛けるように促す
- ・飲水を十分に確保する。
- ・トイレを十分に確保し、水分補給をためらうことがないような環境を整備する。
- ・風通しをよくし、日光の直射を避けて設営する。
- ・炎天下で配給を待つ人の列が長くなることのないよう、工夫する。
- ・非常用電源やスポットクーラーの配備を要請する。
- ・高齢者・こども・障がいをお持ちの方等の要配慮者は優先して冷房設備が稼働している避難所へ避難させる。災害地域外への避難要請等も積極的に検討する。
- ・車内避難は可能な限り避けること、やむを得ず車内避難した場合は、たとえ短時間でも小さなこどものみを車中に残すことは絶対さけるよう注意喚起する。
- ・在宅避難者を訪問し、飲料等の支援物資の配布、暑さに関する情報提供、熱中症についての注意喚起をする。

【参考2】

熱中症予防に関するウェブサイト

- 環境省ウェブサイト

環境省のウェブサイト「環境省熱中症予防情報サイト」では各種普及啓発資料や、熱中症のかかりやすさを示す「暑さ指数（WBGT）」を公表しています。

「環境省熱中症予防情報サイト」(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)

検索 | 環境省 熱中症



携帯電話用 QR コード

<https://www.wbgt.env.go.jp/kt/>



スマートフォン用 QR コード

<https://www.wbgt.env.go.jp/sp/>

災害時の注意事項について



https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/manual/heatillness_manual_3-6.pdf

- 厚生労働省ウェブサイト

厚生労働省のウェブサイト「熱中症関連情報」では、熱中症予防に対する厚生労働省の取組や、職場における労働衛生対策などを掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/index.html